

- 高知県の子どもたちの現状と、そこからみえてくる課題を発達段階ごとに取り上げます。

### ■ 小・中学校の現状

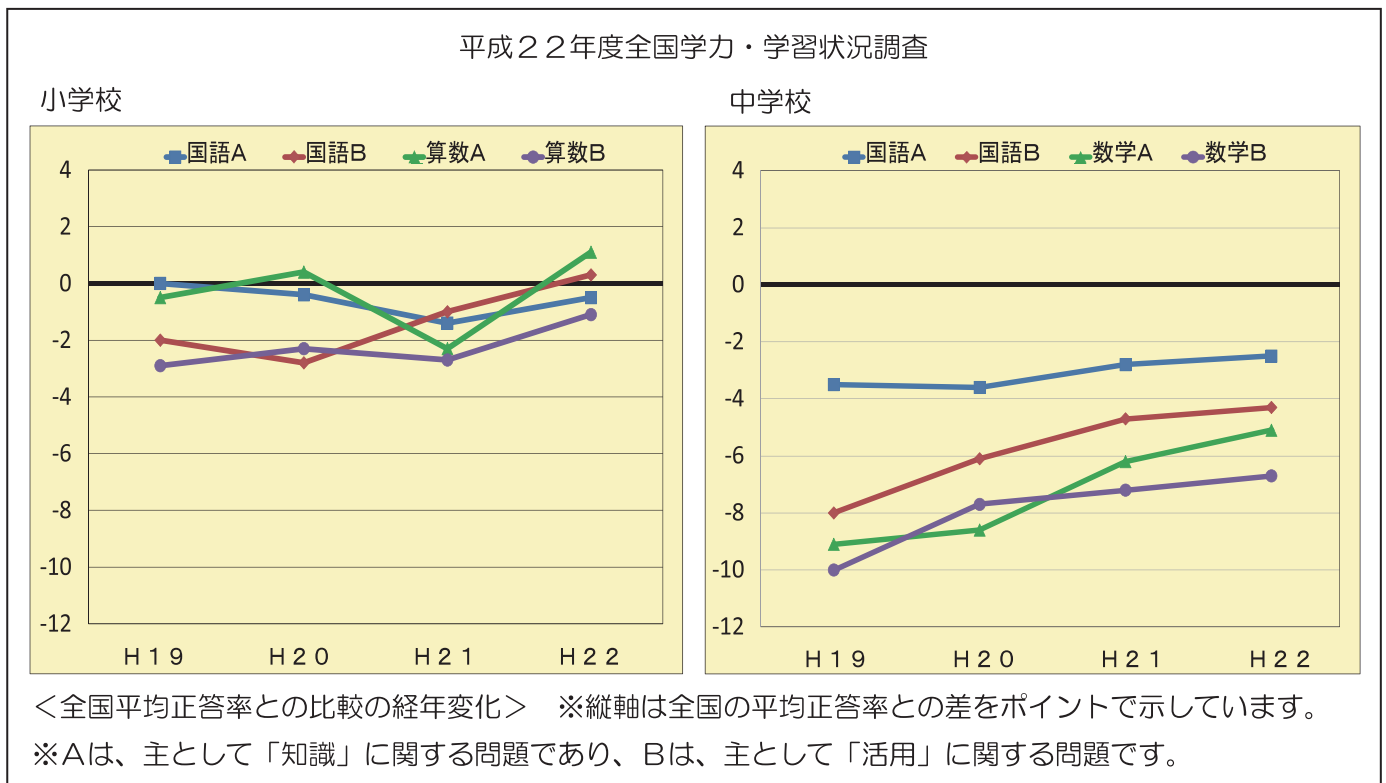
資料1の平成22年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の回答結果から、本県の小・中学生には、基本的な生活習慣、自己肯定感（「自分には、よいところがあると思いますか」）、学校での友人とのかかわり（「学校で友達と会うのは楽しいと思いますか」）、好きな授業・学ぶ意欲（「学校で好きな授業はありますか」）などの項目で課題があることがわかります。

資料1

設問の内容	小学校		中学校	
	高知県	全 国	高知県	全 国
将来の夢や目標をもっていますか（意欲）	84.1	86.8	71.4	71.7
自分には、よいところがあると思いますか（自己肯定感）	70.9	74.4	62.9	63.1
難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか（課題解決）	73.2	74.2	64.7	64.1
学校で友達と会うのは楽しいと思いますか（人間関係形成）	95.4	96.5	93.2	95.0
学校で好きな授業はありますか（学力）	92.1	94.0	79.1	80.3
近所の人にあったときは、あいさつをしていますか（基本的な生活習慣）	86.5	89.9	80.4	83.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか（社会性）	92.2	93.4	90.5	92.1

資料2の平成22年度全国学力・学習状況調査の結果から、小学校はほぼ全国水準に達し、中学校は依然として厳しい状況にあるものの、全国の平均正答率との差が徐々に縮まっており、本県の小・中学生の学力は確実に改善していることがわかります。

資料2

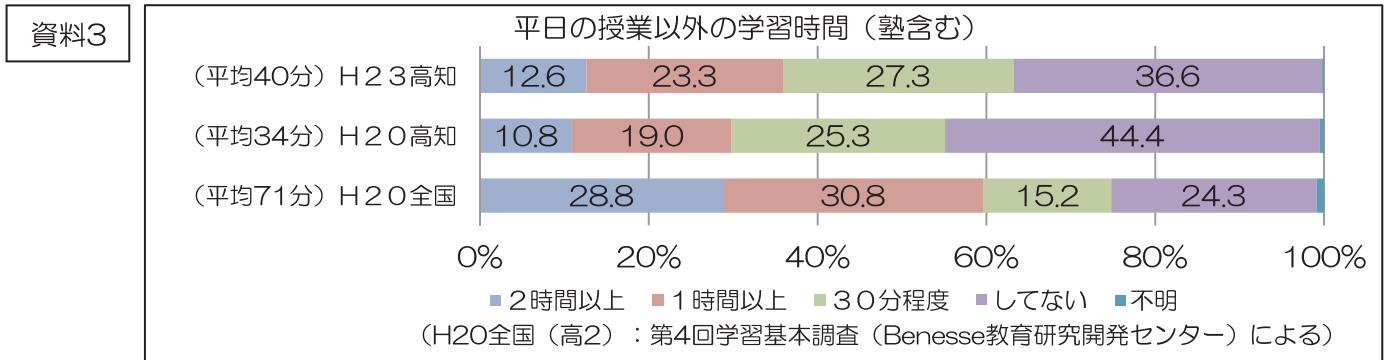


## ■ 高等学校の現状

平成18年度から毎年実施されている、高校生の学力と学習状況【学習支援テスト結果分析】（高知県公立高等学校全日制及び多部制昼間部の1年生対象）のアンケート結果から、「学ぶ目的や学び方が分からない」「進路希望が明確でない」生徒が多いことがわかります。

### ◇ 自主学習・家庭学習時間について（平成23年度アンケート実施分）

- ・資料3の平日の授業以外の学習時間は平均40分で、全国の約3分の2であり、約40%が授業以外で学習をしていない状況です。学力が高い層でも授業以外で学習をしていない実態があります。
- ・学習時間が少ない理由は、「テスト前だけで十分」と考えている生徒が多いことがわかります。



### ◇ 進路希望の実現について

資料4の平成23年3月卒業生において、1年次の「4年制国公立大学希望生徒」は1,397人でしたが、実際の進学者数は552人となっており、多くの生徒の希望が実現されていません。

資料4

1年次の進路希望と卒業後の進路

	平成21年3月卒業生	平成23年3月卒業生
4年制国公立大学進学希望生徒数（1年次）	1,304人	1,397人
4年制国公立大学へ進学した生徒数	525人	552人

### ◇ 将来設計について（平成23年度アンケート実施分）

「あなたは将来どのような職業に就きたいか」という質問に対し、全体の25.4%の生徒が「未定」と回答しており、1年生の段階では4分の1以上が将来の見通しが立っていないことがわかります。

## ■ 高知県の教育に求められていること

発達段階に応じて、小・中学校、高等学校の各学校が期待されている内容に応えられる教育をキャリア教育を通して具体的に実現していくことが大切です。県民や企業からの声、小・中学校、高等学校の現状などからみて、協調性やコミュニケーション能力、学ぶ意欲といった生涯必要となる力の要素を、集中的に高めていけるよう取り組まなければなりません。

